

『濱野健品川区長と語る会』

6月30日、東京都品川歯科医師政治連盟と東京都歯科医師連盟荏原支部の共同主催で、私たちの住む品川区の政策について品川区長濱野健氏にお話を伺った。品川区議会議員の須藤安通氏、伊藤昌宏氏にもご臨席いただいた。

立地条件に即した政策が大切であるが、当区は品川湊から武蔵野国府（府中）へ続く「品川道」、東海道品川宿、大井埠頭に隣接した羽田空港、新幹線品川駅、湘南新宿ライン・りんかい線等を有し、国内外の都市へ続く陸・海・空の表玄関である。人口は昼約53万人、夜約35万人、駅の数も区内40駅と、千代田区、港区に次いで多い。さらに先端技術の中小企業と105商店街が存在しており、まさに住宅・工業・商業の混在する町なのである。

これらをふまえて区議会議員は区民や各種団体と政策要望ヒアリングを行い、区民の幸せと区の



発展を考え区長が最終決定するといった重要な職責を担っている。特に教育については、就学前乳幼児教育の充実、幼稚園と保育園の一元化、小中学校の一貫教育を目指すとともに、品川区独自の教員採用を行っている。他方、区長自ら区民とともに「品川音頭」を歌って踊り、歯科健診も定期的に受診され、健康の重要性もお話しされ、多岐にわたる貴重なお話をお聞かせいただいた。品川歯科医師政治連盟の活動を通じて我々は区議会議員や区長と密に連携し、このことが品川区民の歯科保健と歯科医療の充実を図る掛け橋の一助になれば幸いである。
(加藤 久直)

品川自民党区議団と品川歯科医師会・荏原歯科医師会との連絡協議会

平成22年8月26日、品川プリンスホテル「品川飯店」にて、品川自民党区議団と品川・荏原歯科医師会との連絡協議会が行われた。当日は、品川自民党区議団から4名、品川区議会から5名、品川歯科医師会から15名、荏原歯科医師会から9名の計33名が出席した。平成23年度品川区予算に係る要望書の内容は以下の通りである。

1. 成人歯科健康診査及び歯周疾患改善指導事業の年齢拡大
2. 成人歯科健診、妊・産婦歯科健診の委託料（単価）の増額
3. 20歳の唾液検査—これからの健康のために—
4. 健診用LED照明スタンドの配備



以上の項目全てについて前向きに検討し推進できる形で努力する、との非常に期待の持てる回答があった。このように大変有意義な協議の後、和やかに懇談し会は終了した。
(大矢 美樹)